

自動車地球温暖化対策実施方針

《 1 大規模荷主 》

事業者名	株式会社湖池屋	事業所名	関東工場				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- (01) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	委託物流会社より倉庫間輸送における燃料使用量の報告を年に1度受けており、当社環境・CSR報告書に記載。他内容含め総合的に課題の抽出を行っている。			○	○	○
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- (02) 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施	各生産工場での生産体制(稼働時間、アイテム等)を会議で生産管理部門と協議し、委託物流会社へは物流部門より情報共有を行っている。輸送効率改善も念頭に生産体制の構築が検討されている。			○	○	○
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	新規取引自体が少ないが、商談時にグリーン経営認証等、企業選定の際に考慮はする			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 ----- (01) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上	段ボールの規格変更による軽量化の実施			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 ----- (02) 混載便の利用や共同輸配送の取組	幹線輸送以外は混載便、共同配送実施			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 ----- (03) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注	車種別の積載基準を基に運用。平均 4t:23立米、10t:42立米			○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	発注時間に応じた配車手配の実施	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (01) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請	委託物流会社にて全車デジタルタコメータ装着、社内規制にて回転数制限(2,000回転)、速度厳守(60km)を管理実施継続。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (03) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施	アイドリングストップの目視確認実施。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組	待機場所確保。主要倉庫近隣でのアイドリング防止徹底依頼を不定期ではあるが、関係先へ発信。	○	○	○
09 共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進 ()	埼玉⇄大阪間の幹線輸送において、鉄道によるモーダルシフト(JR5tコンテナ)を一部実施している。埼玉⇄北海道間の幹線輸送においては、船舶を使用した輸送を基本としている。	○	○	○

《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	株式会社湖池屋	事業所名	関東工場			
	取組措置		具体的取組措置	R3	R4	R5
02 公共交通機関への転換の推進 (02) 送迎バス等の運行			久喜駅、加須駅にて一部従業員に実施	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

03 自転車への転換の推進 ----- (01) 自転車の安全利用の促進	傘使用禁止、保険加入義務付け	○	○	○
03 自転車への転換の推進 ----- (02) 利用しやすい駐輪場の設置・維持管理	車輪止め設置	○	○	○
03 自転車への転換の推進 ----- (04) 自転車通勤者への優遇策	片道2km以上の方へ交通費1,000円支給	○	○	○
04 その他マイカー通勤を削減するための取組 ----- (01) 自家用自動車の通勤手当及び許可基準等通勤制度の見直し	片道2km圏内の自家用自動車通勤の原則禁止	○	○	○
04 その他マイカー通勤を削減するための取組 ----- (04) テレワーク制度の導入	一部従業員で導入	○	○	○
05 エコドライブの推進 ----- (01) エコドライブの啓発	資料掲示	○	○	○
07 時差通勤の実施 ----- ()	9つの時間帯で時差通勤	○	○	○